

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要		事業開始年度 平成17年度				根拠法令・規程等 医療法、備前市国民健康保険病院条例
大項目	基本目標	02	健康でやさしさとあふれるまちづくり			
総合計画	中項目	07 <td colspan="3">健やかに生き生きしたまちづくり <td rowspan="3">問 担当課(室) 市立吉永病院 事務部 合 職・氏名 医事係長 繁光麻友美 先 電話 0869-84-2120 このシート作成に要した時間 7.0 時間</td> </td>	健やかに生き生きしたまちづくり <td rowspan="3">問 担当課(室) 市立吉永病院 事務部 合 職・氏名 医事係長 繁光麻友美 先 電話 0869-84-2120 このシート作成に要した時間 7.0 時間</td>			問 担当課(室) 市立吉永病院 事務部 合 職・氏名 医事係長 繁光麻友美 先 電話 0869-84-2120 このシート作成に要した時間 7.0 時間
	小項目	02 <td colspan="3">病院事業</td>	病院事業			
	事務事業名	11	吉永病院診療事業			

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	病気の治療及び予防を必要とする人	
目的 (何のために)	安全で質の高い医療サービスを提供し、親しまれ、必要とされる病院となる	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	情報の収集に努め、研修への参加等を通して知識や技術を向上させ、安心・安全な医療が受けられる環境整備を図り、患者さんの立場に立つて職務にあたる	

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績		Do
細事業名	事業の説明	優先度
収納事業(未収金対策)	未収金の回収業務	
診療事業/入院	入院による診療サービスの提供	
診療事業/外来	外来による診療サービスの提供	
目的を達成するための実施した事業	住民健診・企業健診による市民等の健康管理の提供	
	病院と病院を連携し相互に紹介して患者の健康状態に沿った診療体制を提供	
	患者の不安や介護事業などの相談業務	
	各種法令に沿った申請・届出等医療事務サービスの提供	
右欄の評価の説明	妥当性評価 オーダーリングシステム導入により患者の待ち時間の短縮に効果があがっている。市民意識調査において病院事業は重要度が高いと評価されていて、医師・看護師の確保に努めた、安定した医療提供が求められている。	
	効果性評価 医療・介護・保健を包括した地域医療を実践することで、外来、入院とも患者数は高水準を維持できている。市民が信頼して利用できる医療機関となっている。	
	有効性評価 病床利用率は救急患者のための2床を除くと常に満床状態。入院、外来部門とも成熟状態であり、収入増は期待できない。コスト削減の一方、検診部門の収入増を図り、健全経営を継続する。	

事業費や受益者負担比率、単当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果		(平成22年度事業)			
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
	病床利用率(%)	目標値(A)	96	96	96
実績値(B)		95.8	95.1	93.7	到達目標値
達成率(B/A)		99.79%	99.06%	97.60%	96%
成果指標設定の考え方・式や説明					
安定した病院経営をするためには、収益の確保と維持が重要である。このため、経営の効率化に経営指標(収支改善、経費削減、収入確保、経営の安定性等)の中から、収入確保に係るものとして病床利用率を成果目標として選択し、目標値を設定。 病床利用率(%) = 入院延患者数 ÷ 診療日数(365日又は366日) ÷ ベッド数(50床)					

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準		A : 高い B : やや高い C : 普通 D : やや低い E : 低い
妥当性の評価	市民ニーズ	<input type="checkbox"/>	市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価 <A-E>
		<input checked="" type="checkbox"/>	法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
		<input type="checkbox"/>	現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/>	対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	効率性評価 <A-E>
		<input checked="" type="checkbox"/>	現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
		<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている	
有効性の評価	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/>	事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	有効性評価 <A-E>
		<input type="checkbox"/>	厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	
		<input checked="" type="checkbox"/>	市民・団体等から要望・要請が強い	

事業の目的やその数値目標がある効果性を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止 廃止・完了
説明	現状を維持するとともに、特定健診・各種人間ドックなどの健診事業と、予防接種・健康教室などの拡充を図ることにより、地域住民の健康管理に貢献できるよう務める。					

総合評価	5段階評価(A~E)のランク基準	A : 高い B : やや高い C : 普通 D : やや低い E : 低い
経営利益を59,801,616円計上することができた。入院・外来とも昨年対比で若干の増となった。いずれも上限に近い数字であり、今後大幅な増加は期待できない。今後は診療部門を拡充し増収を図る必要がある。また、地域医療を推進するために各医療機関、介護福祉機関の職員を対象にした研修会の開催を今後も継続充実させ、地域連携を進める。	評価区分 <A-E>	B

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止 廃止・完了
取組目標	経費削減とともに、収入増加・確保対策等に取り組み、安心・安全な医療が提供でき、経営の安定を目指す。					

事業費等		単位	平成20年度実績		平成21年度実績		平成22年度実績	
決算額	直接事業費		877,164	1,050,395	1,116,585			
	必要人員人件費	千円	94.96人・698,710	94.97人・554,586	95.32人・654,506			
	事業費計		1,575,874	1,604,981	1,771,091			
財務	国県支出金							
	受益者負担							
	繰入金	千円	25,325	48,664	79,461			
その他()								
一般財源			1,550,549	1,556,317	1,691,630			
受益者負担比率		%	-	-	-			
結果指標名		単位	平成20年度実績		平成21年度実績		平成22年度実績	
結果指標	入院・外来患者延数	説明	入院	外来	入院	外来	入院	外来
		結果指標量事業	17,488	105,747	17,352	104,491	17,105	106,837
		対前年比%	100.3%	100.2%	99.2%	98.8%	98.6%	102.2%
活動コスト	対前年比%		613,819,496	930,657,427	612,486,252	1,007,847,748	634,060,943	1,038,923,076
		単位当たりコスト	円	35,099	8,801	35,298	9,645	37,069